



# 日本形成外科手術手技学会 *News Letter*

第16号 2021年4月28日発行  
発行 日本形成外科手術手技学会 事務局  
〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12  
新宿ラムダックスビル 4階 春恒社内  
MAIL : jsitps@shunkosha.com

## — 目次 —

- \* 学術集会予定
- \* 第26回 日本形成外科手術手技学会 報告
- \* 第27回 日本形成外科手術手技学会 お知らせ

## 日本形成外科手術手技学会 学術集会予定

### 第27回日本形成外科手術手技学会

会 長：三川 信之（千葉大学大学院医学研究院形成外科学）  
会 期：2022年2月19日（土） ※理事会は2月18日（金）予定  
会 場：ホテル ザ・マンハッタン（千葉市）  
テーマ：層を極める  
大会 HP：<http://jsitps2022.umin.jp/index.html>

### 第28回日本形成外科手術手技学会

会 長：梶川 明義（聖マリアンナ医科大学形成外科）  
会 期：2023年3月4日（土） ※理事会は3月3日（金）予定  
会 場：ステーションコンファレンス川崎（川崎市）

### 第29回日本形成外科手術手技学会

会 長：上村 哲司（佐賀大学医学部形成外科）  
会 期：2024年

## 第 26 回 日本形成外科手術手技学会 報告

会長 岡崎 睦（東京大学大学院医学系研究科 形成外科学分野）

この度、第 26 回日本形成外科手術手技学会を、2021 年 2 月 18 日（木）13 時～2 月 26 日（金）の期日でオンデマンド開催させていただきました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の蔓延による 1 月 8 日の緊急事態宣言の発令を受けての急な変更になりましたことを、心よりお詫び申し上げるとともに、急な変更にもかかわらず、本学会の会員だけではなく非会員の先生方も含めて多くの先生方に参加していただいたことに感謝いたします。当初は、2021 年 2 月 5 日（金）午後から 6 日（土）の日程で会場での開催予定でしたが、緊急事態宣言の発令により多くの会員の皆様の参加が難しくなったことや、たとえ参加できても COVID-19 が蔓延している東京においての会場開催は、参加された先生方の健康上の安全が担保できないと考え、このような決断をさせていただくに至りました。

本学会のテーマは、「五感を生かす」でした。手術自体は視覚を使って手で行うものですが、嗅覚、聴覚、触覚（味覚は？）を使う場面も多いと考えられますので、これらについてエキスパートの先生方 3 人にビデオ口演をお願いしました。オンデマンド開催になったことにより、フロアの先生方と議論する機会はなくなりましたが、3 人の演者のご口演から得られたことは多かったのではないのでしょうか。また、本学術集会は、ビデオ演題を多く取り入れ、会員の皆様が手術手技をビデオで堪能できるような、他学会とは一味違った学会にしたいというコンセプトで開催しました。ビデオには写真にない圧倒的な表現力があり、本学会のテーマである手術手技を高いインパクトで語るにはもってこいのメディアです。その過程でアンケート調査を行い、ビデオシンポジウム企画の希望の多かった領域のエキスパート先生方に企画をお願いしました。それに、当教室員オリジナルの企画を加え、様々な診療施設や立場で診療を行っている先生方にとって魅力的な内容になったのではないかと感じております。一方で、このようなコロナ禍下でも、50 もの一般演題のご登録をいただきました。一般演題の中から、理事の先生方による厳正な査読で 7 つの演題が優秀演題賞候補となり、学会に参加された先生方の投票により 2 演題が優秀演題に選ばれました。

開催法の変更により、各種の企画をベストな形で実現できなかったことや、諸事情から演題を取り消さなければならなくなった先生がいたことは、私自身も大変残念に感じておりますが、Web 開催（オンデマンド配信）になったことで、仕事を休んで遠出できない先生方にも参加していただくことができたようで、スタッフ・名誉会員の先生方も含めて 530 名以上の参加をいただきました。これは、企画をお願いした先生方、演題で匠の手術手技を詳細に語っていただいた先生方、教室員、開催法が変わっても協賛をいただいた企業・医療施設の皆様のおかげであり、心より感謝いたします。

最後になりましたが、ワクチンの接種や対応策が進んで COVID-19 が収束に向かい、会員の皆様が平穏な日常を取りもどし、来年の本学会が例年通りに開催され、手術手技について会場で熱く語り合うことができるようになることを祈念して、今年の学会の開催報告とさせていただきます。

## 第 27 回 日本形成外科手術手技学会 お知らせ

会長 三川 信之（千葉大学大学院医学研究院形成外科学）

この度、第 27 回日本形成外科手術手技学会を主催させていただきます千葉大学形成外科の三川です。会期は 2022 年 2 月 19 日（土）、会場は千葉市美浜区の幕張にありますホテルザ・マンハッタンです。

本学会は 1996 年に発足した研究会から幾度かの名称変更を経て、2011 年、学会に昇格いたしました。四半世紀の歴史と伝統を持つ本学会を初めて千葉の地で開催させていただくことを大変光栄に存じ、会員の皆様には深く感謝申し上げます。

COVID-19 が蔓延している現在、ワクチンの接種が進んでいるとはいえ、来年 2 月の状況は不透明です。よって開催形式は、現地（3 会場）と web を併用するハイブリッド開催とし、より多くの皆様が安全に参加していただけるよう計画しています。

さて今回のテーマは、「層を極める」としました。手術には解剖が大切であり、特に組織間の「層」は極めて重要です。「層」を誤ると手術が上手く行かないばかりか、血管や神経を損傷するなどの合併症が生じます。私は常日頃、若い医局員に「手術はレイヤー（層）だ」と教育しています。学会内では術中の剥離層に関するセッションなども考えています。

また、手術手技の習得には実際の手術を目で見るのが、最良の近道です。その点については前回の岡崎会長に倣い、ビデオ演題のシンポジウムを多数取り入れる予定です。

さらに特別講演は NHK 総合「プロフェッショナル 仕事の流儀」にも出演された銀座カリスマ・ママの白坂亜紀氏、教育講演は千葉大学大学院医学研究院腫瘍病理学の池原譲教授にお願いしました。手術手技に繋がる興味深いお話が拝聴できることと確信しています。

なお、学会の翌日には千葉大学亥鼻キャンパス医学部内の Clinical Anatomy Lab (CAL) において Cadaver Surgical Training (CST) のワークショップも計画しています。今春、千葉大学の医学部棟は 100 数十年の歴史に幕を閉じ、新医学系総合研究棟として生まれ変わりました。手術手技の探求や教育において CST の利用は有意義ですが、加えて真新しい環境の中での CST 講習が非常に楽しみです。

以上のように、盛り沢山の企画ですが、幕張は東京からのアクセスも良く、会場周囲には楽しんでいただける施設も数多くあります。皆様のお役に立つ学術集会となるよう教室員一同準備を進めて参りますので、多数のご参加を心よりお待ちしております。